

季刊誌「むらサポ」

vol.49

2026
Spring



2026年2月20日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX.054-221-2809



in はまつ

日程 令和8年 11月14日(土)・15日(日)

開催地 静岡県浜松市



お問い合わせ

棚田(千枚田)サミットinはまつ実行委員会 事務局:浜松市

概要

棚田を通じたネットワーク化や地域活性化を目的とした全国棚田(千枚田)サミット。アクトシティ浜松を会場として式典や講演、事例発表等が行われるとともに、浜松市内の3つの棚田での現地見学会が予定されています。

むらサポ しずおか 農山村サポーター

ふじのくに 美しく品格のある邑
Beautiful and Gracful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合

Facebook
www.facebook.com/shizuokamurasapo/
しずおか農山村サポーター「むらサポ」

Instagram
www.instagram.com/murasapo/

オフィシャルウェブサイト
www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑 検索



49
2026
Spring

CONTENTS

むらの声 mura note file

工藤夕貴さんと聞く むらの声

03 #01 有東木
(静岡市葵区)

05 #02 深蒸し茶と東海道宿場の里 日坂
(掛川市)

07 地域 × 企業等
五感で癒される湧水の里いのかしら
(富士宮市)

09 小谷あゆみのむらレポ Vol.34
潮騒響くたまねぎの里 篠原
(浜松市中央区)

11 フォトコンテスト

13 イベントカレンダー

表紙 / 富士市富士岡南 (美しく品格のある邑: 富士山のふもとの郷を守る邑)

第11回静岡県農村の魅力フォトコンテスト(春)入賞作品「蓮華畑を駆け抜ける幸せのイエロー」@my_favorite.223
雄大な富士山の前に広がる一面の蓮華畑と、ドクターイエローのコントラストが鮮やかです



ふじのくに美しく品格のある邑って?

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和8年2月現在で155の地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性は様々です。

周辺環境だけにとどまらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、155の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはず。 「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。

ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

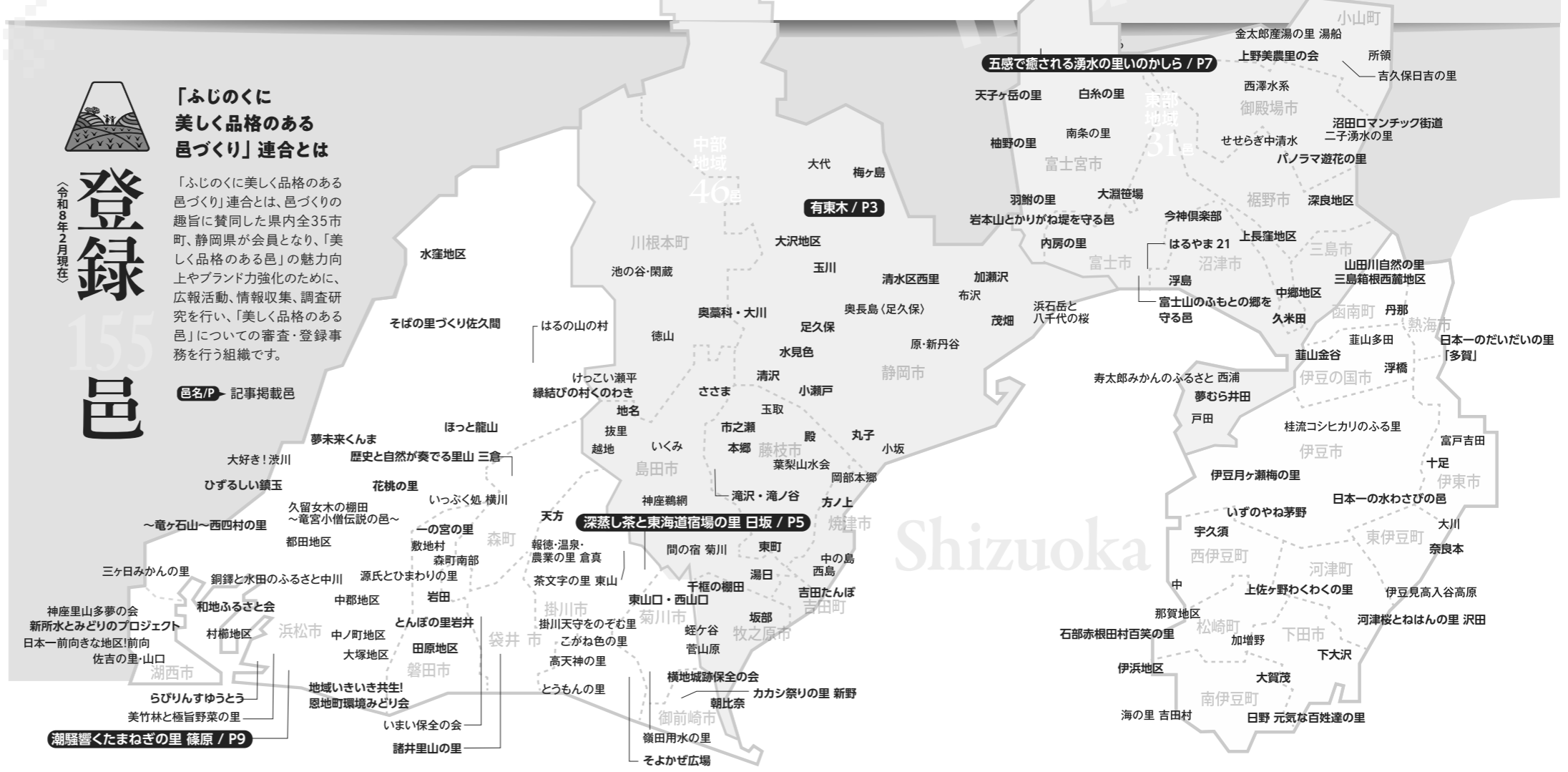


登録 155 邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑



Shizuoka

伝統を守り、変化に向き合う 自然や暮らしを五感で味わう邑



清らかな湧水が流れ、わさび畑と茶畑が折り重なる風景が、訪れる人の時間をふっと緩めてくれる静かな邑、有東木。

静岡市北部の中山間地域「オクシズ」に位置する有東木地区。今回は、ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員の工藤夕貴さんと有東木を訪ねました。わさび栽培発祥の地として、伝統を守りながら、変化にも向き合い続けてきた邑の営みの一つひとつに触れ、邑の人々と語り合いました。

ん。伝統を守りつつ進化を続け、おいしいわさびを届けたという熱い思いが、有東木のわさびづくりを今日も支えています。

「うつろぎ」で味わう 有東木の魅力

地元の食材を使った料理を提供する「うつろぎ」を切り盛りするのは、有東木のお母さんたちです。

「開店当初から、有東木のものしか置かない。すべて手作りです」と白鳥茂子さん。「どんなに忙しくても手を抜かない」。その姿勢が、訪れる人の心をつかみ続けています。

「見て感じたことと、食べて感じたことがちゃんとつながる。自然も暮らしも五感で受け取れるって贅沢だなんて思いました」と工藤夕貴さん。

わさび収穫を体験。同じ農業者として望月敏明さんの言葉に耳を傾けました。



邑の代表者の想いや有東木の未来をめぐって率直な意見を交換しました。

スタッフの平均年齢は70歳近く。親子3代で支える家庭もあり、開店29年となる今も邑の宝であり続けています。

踊りとともに、 意志も受け継ぐ盆踊り

平成11年（1999年）に国の重要無形民俗文化財、令和4年（2022年）にはユネスコ無形文化遺産に登録された有東木の盆踊り。それは単なる夏の行事ではなく、世代を超えて受け継がれてきた文化です。

一方で、指導者の減少や人口減少が深刻で、現在、地域の子どもはわずか4人。歌や踊りを記録映像で覚えながら継承を続けています。

「ユネスコに認定されて名譽。でも、それで終わりじゃ



ない。継ぐために、地域一丸で頑張っているんです」と西島友一さん。
有東木の盆踊りは、美しい舞だけでなく、受け継ぎたいという意志ごと、世代を超えて手渡されてきました。

工藤夕貴さんが実感した 有東木という「宝」

取材を終えた工藤夕貴さんはこう語りました。「静岡には、まだ知られていない『埋もれた財宝』のような場所がたくさんあるんですね。有東木もそのひとつ。こういう集落を守っていくことはとても大切だと実感しました」

江戸時代から続くわさび栽培、地域の食材でつくる料理や加工品、代々踊り継がれる盆踊り。どれも『歴史や文化の積み重ね』で成り立つ営みです。

「昔からのお客様を大切にしてきた姿勢こそが、有東木の宝であり、日本の宝だと思います」

その言葉を裏づけるように、有東木の方々の眼差し、温もり、ふるさとへの想い——そのすべてが、邑の豊かさを形づくっています。



盆踊りの歌と踊りを覚えて、いつか一緒に踊れたら……。広く発信していくことで、有東木の力になりたい！

工藤 夕貴(くどう ゆうき)
俳優・歌手。東京都出身。2006年に富士宮市へ移住し、富士山の麓で農業を営みながら、オーガニックカフェ「カフェ・ナチュレ」を運営。自ら育てた自然農法米で日本酒づくりにも取り組むなど、「食」と「農」と向き合う暮らしを続けている。



公式facebook



左から、西島和子さん、望月義弘さん、白鳥茂子さん、白鳥友幸さん、工藤夕貴さん、望月康弘さん、西島友一さん、白鳥明美さん、宮原友光さん

農産物加工・体験・食事処 うつろぎ



地元のお母さんたちが営む、有東木の「味と体験」の拠点。わさび漬け・わさびのり・わさび味噌・朴葉餅などの加工品を販売するほか、わさび漬け体験・蕎麦打ち体験も楽しめます。

●場所/静岡市葵区有東木280-1
営業時間/
(3月~11月)
平日10:00-15:00 / 土日祝 9:00-16:00
(12月~2月)
平日10:00-14:30 / 土日祝 10:00-15:00
☎054-298-2900



わさびの茎や根まですべて使用したわさび漬づくりを体験。



さびめし定食1,800円(税込)

この地に集落が築かれたのは、今から約420年前の慶長年間。地名「ウトウギ」は「木のうろ」に由来し、山とともに生きてきた土地柄を象徴しています。山の恵みを生かした暮らしは、林業からわさびへと受け継がれてきました。江戸時代初頭、湧水地「井戸頭」に自生のわさびを植え付けたことが静岡水わさび栽培の始まり。その後、人々の知恵と工夫から「置石式」と呼ばれる独自の栽培技術が伊豆地域で生まれ、静岡市にも広がりました。この伝統的な栽培方法は現在、世界農業遺産にも認定されています。「一年中わさびを届けるために品種を使い分け、昔は休めたお盆や正月も今は仕事です。でも、待っててくださいるお客様がいるから」と語るのは、わさび農家の望月敏明さん。

邑の営みを変えた「わさび」との出会い



有東木
うとうぎ

静岡市葵区

- 車/県道27号井川湖御幸線を北進 玉機橋交差点を県道29号 梅ヶ島温泉昭和線方面へ渡本(どもと)を斜め右に入り約3km。特産品展示販売施設「うつろぎ」に到着
- バス/安倍線有東木行「有東木」下車

EVENT INFORMATION

東海道日坂駕籠駅伝大会

【毎年3月上旬】



子どもを乗せた駕籠を担ぎ、江戸時代の面影が残る街道「日坂宿」をリレーするユニークな駅伝大会。中継所ではミニゲームも行われ、力だけでは勝敗が決まらないのも特徴。本陣跡では地場産品販売やフリーマーケット、ビンゴ大会、餅まきなども行われ、家族で楽しめます。

- 会場/日坂宿本陣跡(掛川市日坂57)
- 問い合わせ/東海道日坂宿駕籠駅伝大会実行委員会 大会実行委員長 鈴木 ☎0537-27-0751

もっと！ニットー！マルシェ

【3月22日(日)10:00~15:00】



日坂地区と東山地区が合同で地域を盛り上げようと企画したイベント。「日坂宿橋屋」[TAMO'S BAKERY][三浦製材所]の3店舗が中心となりスタートしました。今年は30店舗以上が出店し、食事やスイーツ、クワイター作品、ワークショップなど多彩な内容がそろいます。DJミュージックが流れる会場で、地域の魅力をゆったりと楽しめます。

- 会場/日坂宿本陣跡(掛川市日坂57)
- 詳細は公式Instagramへ https://www.instagram.com/motto_nitto/



四季を通して楽しめる日坂へ

3月には、子どもから大人まで楽しめるマルシェやユニークな駅伝を開催しています。新茶の季節には新芽を摘む体験、冬には茶草を刈り取り畝間に敷く作業も体験できます。お茶づくりの現場に触れることで、日坂の営みを身近に感じてもらえたら嬉しいですね。カフェやパン屋、古民家宿も増えています。気軽に足を運んでみてください！

品びとメッセー

かわむらともやす
川村 友康 さん

掛川市日坂出身。定年退職後に U ターンし、現在は日坂地区まちづくり協議会会長として地域活動に取り組んでいる。



東海道五十三次の25番目の宿場町として栄えた日坂地区。宿通りには江戸時代から続く旅籠や商家が残り、中山峠の茶屋、事任八幡宮や久遠寺といった社寺とともに、地域の歴史と文化を今に伝えています。

そんな日坂を語るうえで欠かせないのが、深蒸し茶の産地としての一面です。ここで受け継がれているのが、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」。茶園近くの茶草場の草を刈り取り、畝間に敷くことで土を肥やし、茶の品質向上につながる伝統的な農法で、自然環境の保全にも寄与しています。

日坂・御林地区で茶業を営む杉本和久さんは、11月半ばから1月にかけて、奥さまと

二人で草刈り作業を続けています。「手間も労力もかかりませんが、健やかに育ってほしい」という茶樹への愛情が原動力です」と杉本さん。

こうして育てられた日坂茶は、地元の緑茶メーカー「株式会社山英」との連携により、ペットボトル茶として商品化されました。茶草場の動植物や日坂の祭りをあしらったパッケージも特徴の一つです。

「日坂地区の情報を伝えられるデザインにするため、まちづくり協議会と何度も話し合いました。ボトルに詰めた状態で日坂茶のおいしさをどう引き出すか、そこに一番苦労しました」と、山英の山崎千嘉さんは振り返ります。

その一方で、地域の担い手

確保が日坂の新たな課題になっています。日坂地区まちづくり協議会の川村友康会長は、「働きながらでも参加できる形へと変えていく必要があります。行事の内容も、若者の意見を取り入れながら見直しています」と話します。

毎年3月に開催される「もっと！ニットー！マルシェ」は、日坂地区と東山地区が合同で企画するイベント。毎年2000人以上が来場し、若い世代が主体となって地域を盛り上げる場として定着しつつあります。

そのにぎわいのなかに、昔ながらの街並みや文化に若い力が重なり合う、日坂のいまの姿が映し出されています。

日坂産茶葉だけを使用 深蒸し日坂茶

日坂地域で摘み取られた深蒸し茶をじっくり抽出し、ペットボトルに閉じ込めました。さわやかな香りとすっきりとした味わいが特徴で、急須で淹れた緑茶の風味を再現しています。

- 詳細は「株式会社山英」公式サイトへ <https://www.yamaeinet/>



山英の山崎千嘉さんと深蒸し日坂茶

天然の玉露 あさつゆ

日坂・御林地区で育つ高級品種茶「あさつゆ」。水色の美しさと豊かなうまみから「天然玉露」とも呼ばれます。収量が少なく、霜に弱く、製茶時につぶれやすいなど、栽培・製造ともに難しい品種。一煎目は出汁のような味わい、二煎目では香りと色の変化が楽しめます。

- 問い合わせ/090-3441-4071(杉本和久)



1300円(税込)(100g)



茶草場農法とは、茶園近くの草を刈り取り畝間に敷くことで土を肥やし、茶の品質向上につながる伝統的な農法。

mura note file むらの声 #02

茶草場農法が育む日坂茶 邑ぐるみで文化と味を未来へつなぐ

茶草場農法による深蒸し茶づくりが今も続いている日坂。農家や企業、地域が連携し、日坂茶の文化と味を宿場町の賑わいととともに、次の世代へとつないでいる。



江戸時代中期に設置された下木戸の「高札場」を復元したものの。



江戸時代の面影を残す数少ない旅籠「川版屋」。一般公開されている。

深蒸し茶と東海道宿場の里 日坂

ふかむしちゃととうかいどうしゅくばのさとにつさか

掛川市

- 電車・バス / JR 掛川駅北口から掛川バスサービス東山線「日坂」バス下車
- 車 / 東名掛川 IC または 菊川 IC から約 15 分、新東名島田金谷 IC から約 20 分

水車のある里へ 湧水とともに受け継ぐ 猪之頭の原風景

発電機

発電機を備えた水車。水の力が電力に変わる仕組みを、目に見えるかたちで感じることができます。

かつて猪之頭には 20 か所以上の水車があり、水とともに生きる風景が暮らしの一部でした。その原風景をもう一度取り戻そうと、邑の呼びかけに建築学校と地元企業が応え、地域・企業・学校の協働による「農山村の原風景復活に向けた水車プロジェクト」が動き出しました。

湧水の里に もう一度水車を

富士宮市は市内に18か所の小水力発電所を有し、その数・発電量ともに日本一です。なかでも湧水に恵まれた猪之頭地区には、かつて20か所以上の水車があり、製材や鍛冶、穀物処理など、暮らしを支える存在として活躍していました。

しかし、電気の普及とともに姿を消し、現在残るのは稼働していない3基のみです。

「水車のある懐かしい風景を復活させたい」という地域の方々の思いをきっかけに、猪之頭湧水・水車活性化推進協議会を発足。令和5年度から「農村連携促進支援事業」として本格的にスタートしました。

学生の手で生まれた 回る建築

水車の設計・製作を担ったのは、日本建築藝術大の学生たち。地域史を紐解きながら「猪之頭らしい懐かしさ」を感じる形をゼロから設計しました。

約半年かけ、1.5m級の水車を想定して十数案を検討。模型で水の当たり方や強度を検証し、地元産の富士ヒノキを

用いて、のこぎりや鉋による手作業で一つずつ仕上げていきました。

「回るかどうかが一番のポイント。重すぎても、薄すぎてもいけない。その絶妙なバランスを体感しながら学べたことは、学生にとって大きな経験になりました」と長谷川幸基教授は語ります。

地元企業が支えた 水の舞台づくり

水車設置に欠かせない土木工事を担当したのが、有限会社富士建材土木です。遊水地造成などの水路工事や基礎工事、防水対策を施し、湧水を安定して水車へ導く仕組みを構築しました。

「最初はなかなか回らず、水

の角度や位置を何度も調整しました。回転した瞬間は、チーム全体で思わず笑顔になりましたね」と植松秀行社長。令和7年8月の完成セレモニー以降、水車は現在も稼働を続けています。

教育と観光へ広がる波紋

この水車プロジェクトにより、学校との新たな連携も始まりました。小学生は在来クレンソンの学習や移植体験、小中学生は、カジカの放流やホタルの生息環境整備を行っています。

陣馬の滝を訪れる観光客も増え、朝市の拠点としての活用に加え、海外からの来訪者が写真に収める場面も増えています。

「将来的には大型水車の建設

や、複数の水車が並ぶ『水車村』の実現を目指しています。子どもたちにも、水の力の大切さを知ってほしいですね」と佐野代表は話します。

水とともに生きてきた猪之頭の文化や原風景を、次の世代へ。地域・企業・学校の連携が、この里に新しい流れを生み出しています。

水車や湧水にまつわる地域の歴史を、イラストや写真でわかりやすく紹介したリーフレット。地域住民への配布を行ったほか、近隣の道の駅などで配布しています。

期待できる効果

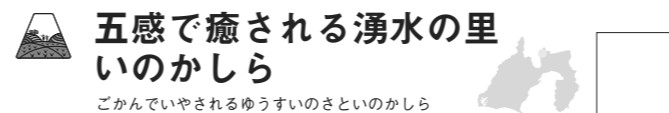
地域の人々にとって

- ・湧水文化・原風景の再認識
- ・子どもたちへの環境・地域学習の場の創出
- ・来訪者増加による情報発信力の向上

企業等にとって

- ～日本建築藝術大～
- ・実践型教育による学生の技術力・主体性の向上
- ・地域連携による学びのフィールド拡張

- ～富士建材土木～
- ・地域環境改善への貢献実感
- ・自社技術を生かした地域連携モデルの構築



富士宮市

- 車 / 東名高速道路富士 IC から約 35 分、新東名高速道路新富士 IC から約 30 分
- 電車・バス / 富士宮駅から富士急静岡バス「猪之頭小学校前」下車、徒歩 1 分

今回お話を伺ったみなさん。左から佐野 順一さん（代表）、植松 勲さん（前町内会長）、植松 秀行さん（富士建材）、長谷川幸基さん（日本建築藝術大教授）

篠原地区にある直売所「おにおんハウス」を運営するのは、「株式会社あつたか農場」代表の渥美隆裕さん(46)。玉ねぎを中心に野菜を生産・販売しています。渥美さんも新規就農で13年。「玉ねぎは儲かるぞ。教えてやるから作れ」と、地元(4)の農家に言われ、種を分けてもらったそうです。2021年に法人化し、面積は8ha、正社員雇用もしています。

あつたか農場では、玉ねぎやトウモロコシなど、季節ごとの野菜の収穫体験にも力を入れています。以前、収穫体験イベントをしたときの家族連れの喜ぶ姿を見て、お客さんは「リアルな体験を求めている」と感じ、将来は農業を通して食べることを大

新たまねぎの価値を発信する

は、土地改良区の理事長と副理事長で、お二人とも定年後、自分の畑で玉ねぎ農家をしています。砂地の畑は水はけが良い一方で、水路に流出しやすく、定期的な泥上げが欠かせません。そこで、10年ほど前から年に2回、地域全体で協力して泥上げを行っています。榊原さんたちが地域全体に呼びかけ、今では、5月と12月の泥上げ期間、1週間に延べ500人ほどが、それぞれ自分の畑の前の水路の泥上げ作業をするのが恒例行事となっています。

切さを知ってもらおう農業体験ワンダーランドの構想を描いています。

危機を乗り越え「はるたま」産地へ

実は、篠原地区の農業はほんの数年前まで危機に見舞われていました。高齢化で離農が相次ぎ、耕作放棄地が増えていたのです。そこで、JAとびあ浜松が「とびあふあー夢」を設立し、農地の再生と新規参入の仕組みを作りました。榊原さんたちによる地域一斉泥上げ行事は、そうした中、地域のつながりを取り戻す

増田さんの畑でのはるたま収穫体験

地域の皆さんにインタビュー

潮騒響く玉ねぎの里 篠原
しおさいひびくたまねぎのさとしのはら

浜松市中央区

- 車 / 東名浜松西 IC より約 20 分
- バス / 浜松駅から遠鉄バス 25 分 (4 のりば 12 高塚馬郡) 田畑下車徒歩 3 分

6月下旬、ネギぼうずから種取りをします。

あつたか農場代表の渥美隆裕さん。

無人直売所「おにおんハウス」では地域内外の野菜が購入できます。

はるたまのほか、サラダオニオン、アーリーレッドが栽培されています。

たまねぎ栽培に適した篠原の砂地土壌。

傷がつかないように丁寧に収穫します。

玉ねぎ畑での一枚。左から松下功さん、増田真一さん、榊原政博さん。

春は畑からやってくる

ひと足早く届く春の味「はるたま」

日本一早い新玉ねぎ

遠州灘に面した浜松市篠原地区は、日本一早い新玉ねぎ「はるたま」の産地として知られています。一般に、新たまねぎの旬は3〜5月ですが、「はるたま」の初出荷は1月と、ダントツの季節先取りで、市場でも高値で取引されています。日照量や水はけの良い砂地が玉ねぎ栽培に適しています。

新規就農11年、増田真一さん(38)の玉ねぎ畑を訪ねました。現在は雇用もして、1.5haを経営しています。農地はJA浜松とびあの出資した(株)とびあふあー夢が仲介して、幹旋してくれます。小規模な農地が多く、畑は15カ所ほどと点在していますが、JAの共販があるため、生産に注力できるのは魅力だと語ります。特別に、新玉ねぎを1本収穫させてもらいました。葉の部分をつかんで引っこ抜くと軽く抜けます。皮を一枚むくと、真っ白でツヤツヤな肌！試しにかじると、辛みが少なく、甘くてジューシーな新玉ねぎです。

年2回、地域で一斉に泥上げ

ふじのくに美しく品格のある邑「潮騒響くたまねぎの里篠原」代表の榊原政博さん(73)と、松下功さん(69)

ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進員 農業家

小谷あゆみの「むらレポ」
Vol. 34

撮影：うちだしのすけ

久留女木の棚田〜竜宮小僧伝説の邑〜

深良地区

<p>「田園のイエローカーペット」 (三島市玉沢) 撮影者：山口 勉さん 撮影時期：令和7年11月</p>	<p>「晩秋の棚田」 (浜松市浜名区引佐町 久留女木の棚田) 撮影者：黒田 博文さん 撮影時期：令和7年11月</p>	<p>「実りの秋」 (裾野市深良) 撮影者：勝又 守洋さん 撮影時期：令和7年10月</p>
---	---	--

深良地区

<p>「あふれる笑顔と黄金色」 (静岡市葵区観山) 撮影者：wolfboy217さん 撮影時期：令和7年10月</p>	<p>「天白神社祭典」 (磐田市) 撮影者：toshi boon_0206さん 撮影時期：令和7年10月</p>	<p>「田園風景」 (富士市) 撮影者：saka_photo1103さん 撮影時期：令和7年11月</p>
---	--	---

岩本山とかりがね堤を守る邑

徳山

<p>「やっと収穫作業日が来た」 (裾野市 深良小学校内) 撮影者：鈴木 常雄さん 撮影時期：令和7年10月</p>	<p>「種まき列車「小麦号」出発」 (裾野市深良) 撮影者：鈴木 敬盛さん 撮影時期：令和7年12月</p>	<p>「神楽獅子がゆく」 (浜松市天竜区春野町豊岡) 撮影者：小沢 大介さん 撮影時期：令和5年10月</p>
--	--	---

<p>「収穫間近のミカン畑」 (富士市 岩本山周辺) 撮影者：佐野 貞幸さん 撮影時期：令和6年12月</p>	<p>「稲積み処理作業と富士山」 (富士市) 撮影者：asuka.luckystar110622_0724さん 撮影時期：令和7年10月</p>	<p>「乙女、舞う。」 (川根本町徳山) 撮影者：shin81014さん 撮影時期：令和7年10月</p>
---	--	---

深良地区

特選 「種まき列車「小麦号」出発」
撮影場所：裾野市深良
撮影者：鈴木 敬盛さん
撮影時期：令和7年12月

審査委員長 沼田早苗氏からの講評

白糸の里

準特選 「雪積もる棚田の朝」
静岡県土地改良事業団体連合会長賞
撮影場所：富士宮市 平成棚田
撮影者：@uav.photoさん
撮影時期：令和7年1月

審査委員からの講評

準特選 「新米」
ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合会長賞
撮影場所：磐田市
撮影者：@yn_ygwさん
撮影時期：令和7年8月

審査委員からの講評

審査委員長 沼田早苗氏
総評

季節ごとのイベントなどの特徴を捉えている作品が多く、素晴らしいです。ありふれた風景でも、一年を通して撮影された作品を見ると、時の移り変わりがよくわかります。景色を入れると人の表情が写しづらくなるため、どちらも写すということはとても難しいですが、美しい景観に合わせて農村で活動する人たちの楽しさが見えると良いでしょう。

<p>「収穫が終わり牛のエサ」 (島田市初倉) 撮影者：竹島 明廣さん 撮影時期：令和7年10月</p>	<p>「里の秋」 (川根本町大沢) 撮影者：諸田 耕治さん 撮影時期：令和7年11月</p>	<p>「秋景」 (富士市富士岡) 撮影者：高橋 正雄さん 撮影時期：令和6年11月</p>
--	--	---



お越しいただく皆様へのお願い

開催日時や内容は、余儀なく変更・中止される場合がございますのであらかじめご了承ください。

June 6月~

伊豆の国市

浮橋
6月の土曜日を予定

ホテル観賞会・浮橋流しそうめん
浮橋産の小麦粉だけで作った風味豊かな「浮橋そうめん」を使った「流しそうめん」を行います。ホテルを手に触れることができます。

浮橋公民館
伊豆の国市浮橋 900-5

【事前申し込みが必要です】
【申込先】伊豆の国市商工会
☎0558-76-3060

☎ 浮橋まちづくり実行委員会
会長 古屋 洋司 ☎090-1620-0821

森町

一の宮の里
4月下旬~8月下旬

青もみじ見頃
秋には紅葉で赤く染まる景色が、この季節は鮮やかな緑で彩られます。

小國神社
森町一宮 3956-1 ① 無料駐車場あり
☎ 小國神社 ☎ 0538-89-7302

森町

一の宮の里
3月下旬~4月上旬

小國神社桜詣
琴・尺八の音色を聴きながら花見

小國神社
森町一宮 3956-1 ① 無料駐車場あり
☎ 小國神社 ☎ 0538-89-7302

浜松市

和地ふるさと会
2月14日~3月上旬頃

東大山河津桜まつり
花川沿いに400本の河津桜と菜の花が見所。土日は、軽トラ市、軽食、イベントを予定。

大山地区の花川堤 浜松市中央区大山町 2671 付近

☎ 和地ふるさと会 担当：会長 野中 真八郎
☎ 090-3483-9494

開花情報をご確認ください
浜松駅⑧のりばより遠鉄バス 41 系統花川運動公園行き（ファイブガーデン経由）「林西寺前」下車 2分
① 無料駐車場あり

February 2月~

商伊豆町

日野 元気な百姓達の里
2月1日(日)~3月10日(火)

第28回みなみの桜と菜の花まつり
広さ約3haの菜の花畑があり、その付近の青野川両岸沿いに800本の桜並木がありとてもきれいです。ぜひお越しください。

南伊豆町湊・下賀茂周辺
☎ 南伊豆町観光協会
☎ 0558-62-0141
① 駐車場を利用した場合、環境保全料として500円ご協力をお願いします。

May 5月~

森町

一の宮の里
5月中旬~6月中旬

花菖蒲見頃
琴・尺八の音色を聴きながら花見

小國神社
森町一宮 3956-1 ① 無料駐車場あり
☎ 小國神社 ☎ 0538-89-7302

掛川市

深蒸し茶と東海道宿場の里 日坂
3月22日(日)10時~15時

mottō nittō もっと! ニットー!
もっと!日東(ニットー!)の魅力伝えたい! 楽しい!おいしい!マルシェ!

掛川市日坂宿本陣跡広場
☎ mottō nittō 運営本部
Instagram (@motto_nitto) で検索
小雨決行 ① 無料駐車場あり 日坂小学校グラウンドほか

March 3月~

掛川市

とうもんの里
3月21日(土)22日(日)

とうももんまつり
周年祭

とうもんの里総合案内所 掛川市山崎 2 3 3
☎ NPO 法人とうもんの会 ☎ 0537-48-0045

磐田市

岩田
3月15日(日)9時~16時

お花畑コンサート
お花畑のチューリップと菜の花が満開になる頃、10グループが出演するコンサートの開催

岩田小学校体育館
磐田市勾坂中 987
☎ 岩田故郷の会 事務局 青島保一
☎ 090-7952-2513 入場料 無料

河津町

河津桜とねはんの里 沢田
2月7日(土)~3月8日(日)9:00~16:00

涅槃堂公開
桜まつり期間中に涅槃堂の公開を行います(河津桜見晴台、御朱印、涅槃の甘茶等)。

涅槃堂 賀茂郡河津町沢田 108
☎ 涅槃堂奉賛会 担当：後藤
☎ 090-5859-3669

毎月開催イベント

浜松市

恩地町環境みどり会
毎月第3日曜9時~9時30分

恩地町みどり朝市
地産地消の野菜販売~[新鮮・安全・安~い] 野菜主体に生産者が直売します。

恩地町公会堂広場 浜松市中央区恩地町 443
☎ 恩地町環境みどり会 見野 ① 駐車場有 無料
☎ 053-426-2888

森町

天方
5月中下旬

オープンハウス ぷぶふの日
人・自然の暮らしぶりを味わう里山めぐり

森町天方地区
☎ 森町グリーンツーリズム研究会
☎ 0538-85-6315

April 4月~

森町

一の宮の里
4月18日(土)19日(日)

小國神社十二段舞楽
国指定重要無形民俗文化財に登録された十二段舞楽の舞

小國神社
森町一宮 3956-1 ① 無料駐車場あり
☎ 小國神社 ☎ 0538-89-7302

掛川市

深蒸し茶と東海道宿場の里 日坂
3月上旬

第34回東海道日坂宿駕籠駅伝大会
東海道の宿場町、日坂の通りを駕籠を担いでリレーします。本陣跡広場がスタート及びゴールとなります。

掛川市日坂宿本陣跡広場及び宿通り
☎ 東海道日坂宿駕籠駅伝大会実行委員会
☎ 0537-27-1429 小雨決行
① 無料駐車場あり 日坂小学校グラウンドほか

松崎町

石部地区
5月中旬

石部棚田田植え祭
石部地区の棚田で田植え祭を行います。

石部の棚田
☎ 松崎町企画観光課 ☎ 0558-42-3964

中郷地区
4月29日(水)10:00~12:00

地域交流・農作業体験
安久地区の皆さんと地域の未来のために、花畑の手入れ・農作業を行う。

三島市安久日大グラウンド東側
☎ 安久水と緑の会 会長 山田 俊一
☎ 090-4252-9237
参加費無料



あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail: nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降に掲載させていただきます場合があります。
※個人情報、連絡のため以外には使用いたしません。



涅槃堂

涅槃堂見晴台から見える河津桜は絶景です。